

史跡大室古墳群見学マップ

～ムジナゴロー周遊路編～

所要時間：約1時間（大室古墳館との往復を含む）

- 積石塚 △ 合掌形石室・箱形石棺
- 土石混合墳 ▮ 竪穴式石室
- 盛土墳 ▮ 横穴式石室
- ? 不明

墳丘・埋葬施設の種別は、『長野・大室古墳群・分布調査報告書』（長野市教育委員会 1981）を一部修正したものです。今後の調査により変更される可能性がありますのでご了承ください。

186号墳

造られた当時の姿をよく留めている古墳です。横穴式石室の前面から、土器とともに馬の頭骨が出土しており、被葬者と馬との関わりを示しています。

187号墳

古墳群で多く見られる横穴式石室の中でも、古い段階に造られたと考えられる古墳です。側壁の一番下の石材が縦方向に据えられているのが特徴的です。

189号墳

確実に箱形石棺と判断できる数少ない古墳で、石棺の上には水平に設置された天井石が残されています。墳丘の一部は林道によって削平されています。

周遊路入口へは徒歩で移動してください。一帯は山林ですので、安全には十分注意して見学してください。



168号墳

合掌形式石室がよく残されており、大室古墳群を代表する古墳の一つとして知られています。墳丘上から馬形土製品や埴輪・土器などが出土しています。

165号墳

T字形に2つの合掌形式石室が配置されている珍しい古墳です。東側の石室には屋根型の天井石は残されていませんが、奥壁の形状から合掌形石室と判断できます。

176号墳

とても規模の大きな積石塚で、崩れかかった合掌形石室が上部に残されています。石室の位置から考えると、これとは別の埋葬施設が存在する可能性があります。

195号墳

大室古墳群では類例の少ない竪穴式石室が2基ある珍しい古墳です。失われている天井石は、側壁の一番上にある大きな平石上に設置されていたと考えられます。



周遊路入口

大室古墳館へ